

報道関係者各位

虎屋文庫機関誌『和菓子』25号発行

2018年3月発行(年1回発行)

B5版／116頁／1,000円(税込) 送料実費

虎屋文庫では、和菓子をテーマとした展示(現在、ギャラリー休館中)、講演会の開催ほか、和菓子関連資料の収集、機関誌の発行などの活動を行っております。この度、機関誌『和菓子』25号を発行いたしましたので概要をお知らせ申し上げます。

機関誌『和菓子』とは

和菓子に関連する事柄についての論文や史料翻刻を中心とした学術雑誌で、1年に1回、発行しております。毎号「菓子とまじない、占い」「羊羹」「地域資料に見る菓子」など、菓子に関わる特集を設けています。

巻頭言

○紀州発 和菓子文化とまちづくり

鈴木 裕範(紀州の和菓子と文化を考える会代表・和歌山大学客員教授)

魅力ある町の条件として「美味しい和菓子があること」を挙げられる鈴木氏に、和歌山県での菓子をテーマとした地域振興について、学習会や和菓子屋めぐりといった具体的な活動を交えご紹介いただきました。

特集 藩と菓子

○仙台藩御用菓子司と菓子について

籠橋 俊光(東北大学大学院文学研究科准教授)

仙台藩御用菓子司、明石屋と玉屋について両家で製造していた菓子や経営の実態について検討されました。仙台で作られた饅頭は、藩主が賞玩するだけでなく、江戸の将軍への献上にも用いられ、菓子が「幕府と仙台藩の関係を結ぶ政治性をも含んだ存在」であったと指摘されています。

○紀州藩主徳川^{はるとみ}治宝と京都の菓子

砂川 佳子(和歌山県立文書館嘱託研究員)

紀州藩主徳川治宝は参勤交代の折、摂家一条家に嫁いだ姉に京都で面会し、一条家から菓子を贈られることが通例となっていました。また、紀州藩御用を勤めた駿河屋の絵手本(菓子の見本帳)に、虎屋の菓子が記録されていることから、一条家との交流のなかで贈答された京都の菓子が和歌山に伝播した可能性を示唆されています。

○大名の手製菓子と贈答—弘前藩主津軽^{やすちか}寧親と地縁・血縁関係者—

岡崎 寛徳(大倉精神文化研究所客員研究員)

弘前藩主津軽寧親宛の書簡から、寛政～文化年間(1789～1818)に、寧親や交流のある大名らが手製の菓子を贈り合っていたことが明らかになりました。菓子をめぐる楽しげなやりとりからは藩主の人柄が窺えます。また、菓子製造の指南役として藩の御用菓子屋が携わった可能性を提示されており、興味深いものです。

和菓子研究

○江戸幕府嘉定儀礼の「着座」について

相田 文三(虎屋京都管理部文化事業課)

江戸時代、6月16日に盛大に行われていた幕府の嘉定での大名・旗本の菓子頂戴の形式を詳細に分析しました。一部の大名は着座して菓子を頂戴しており、それは将軍との擬似的な共同飲食を伴うものであったことを明らかにしています。また、形式の変遷や、着座して菓子を頂戴する意味についても検討しています。

○徳川^{なりあき}斉昭筆「菓子雛形」と御用菓子屋^{ましや}—真志屋と金沢丹後—

森田 環(虎屋文庫)

虎屋が所蔵する水戸藩主徳川斉昭筆の掛軸「菓子雛形」を紹介しました。箱書にある水戸藩御用菓子屋の真志屋と幕府御用菓子屋の金沢丹後との関係を考察、真志屋の末裔を題材とした森鷗外^{じゅあみ}「寿阿弥の手紙」を検証しています。菓子好きだった斉昭の菓子の絵図をぜひご覧ください。

虎屋の御用記録の翻刻

前号に引き続き元禄13年(1700)「諸方御用留帳」^{しよかた ご ようとめちよう}(虎屋黒川家文書)の翻刻を掲載します。元禄14年8月から翌年5月までの記事となり、虎屋で羊羹を竹皮に包んでいたことが確認できる最初の記述が含まれています。

購入方法

●FAX・MAILにてご注文ください。書店には流通しておりません。通信販売にて承ります(送料実費)。

バックナンバーも販売中 〈 価格 19・22～24号 1,000円、他は 900円(いずれも税込) 〉

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 5号特集 和菓子原材料の現在 | 17号特集 江戸と菓子 |
| 7号特集 歴史資料と和菓子 | 18号特集 甘味料をめぐって |
| 8号特集 外来食文化と和菓子 | 19号特集 菓子史料コレクションから見えるもの |
| 9号特集 九州 | 20号特集 羊羹 |
| 10号特集 民俗と菓子 | 21号特集 贈答と菓子 |
| 11号特集 菓子とまじない、占い | 22号特集 地域資料に見る菓子 |
| 12号特集 唐菓子 | 23号特集 あめ |
| 15号特集 菓子道具 | 24号特集 近代と菓子 |
| 16号特集 武家社会と菓子 | |

※創刊号～4、6、13～14号は完売しました。

購読お申し込み・お問い合わせ先

〒107-0052 東京都港区赤坂 4-9-9 赤坂 MK ビル 2 階
株式会社 虎 屋 虎屋文庫
電話 03-3408-2402 FAX 03-3408-4561
URL: <https://www.toraya-group.co.jp/toraya/bunko>
MAIL: bunko@toraya-group.co.jp